

# 確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立安井小学校  
校長 品川 純一

中学校区におけるめざす子ども像

ちがいをみとめ、ともに生き、将来の夢と希望に向けて自ら学び続ける子

## 令和8年度 重点目標

【学校教育目標】人権尊重を基盤に、知・徳・体の調和のとれた児童を育成する。

【めざす児童像】①人権を大切にし、みんなと仲良くする「やさしい子」(徳) ②行動に責任をもって、よく考える「すなおな子」(知) ③健康で明るく、がんばりぬく「いつも元気な子」(体)

【めざす学校像】①集団生活を通して、互いを尊重する心と豊かな社会性、生きる力を養う学校 ②確かな学力・総合的な学力を培う、厳しくも温かい学校 ③心身とも健康で、しなやかな心を持ち、自分を高めるために力いっぱい励むことができる学校

## 「確かな学びと豊かな心」の現状

・学習活動において、自分で学習計画を立てることや粘り強く学ぼうとすることに課題がある。また、基礎的な学力が定着するのに時間がかかる児童が少なくない。  
・昨年度の全国学調やすくすくウォッチの結果より、国語科及び算数科とも記述式の問題の正答率が低い。自らの課題を認識し学習計画を立て、粘り強く学習に取り組むことができるように、自主学习等の取り組みを推進することに注力する。また、基礎学力の定着を図るとともに、各教科において「きいて、表現する」活動を通じて、思考の過程を大切に、自らの学びを整理することで、「総合的な学力の向上」と「自ら学び続けるこどもの育成」を目指す。

## 「豊かな心・健やかな体」の現状

・中学校区や小学校独自の健全育成を行い、優しく素直に育っている児童が多い。  
・児童会が中心となり、たてわり活動を行っている。高学年が低学年をサポートする姿がよく見られる。しかし、各調査で「人と違う意見について考えるのが楽しい」と感じている児童の割合は約70%である。これを踏まえ、様々な場面で、協働的な活動を通じて、人とのかかわりの中で学び、理解し合うことで豊かな心の育成を図る。  
・直近の体力テストの結果をもとに、堺市平均より低い項目については、普段の授業時に様々な運動やゲーム的な運動を取り入れるなど、体力向上につながる取り組みの改善を行う。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組, ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～10月)	達成状況(年度末)		
								自己評価	学校関係者評価	
確かな学び	授業改善	堺版授業スタンダードに加え、学びのコンパスに取り組む。こどもが自らの学習状況を把握し、主体的に学習方法や学習形態を組み合わせながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努めるとともに、学力課題解消に向けた総合的な学力の育成を図る。	授業改善に努めこどもができた喜びを感じ、学びたいような魅力ある授業づくりを行う。	アンケートの「授業が楽しい」と感じる肯定的意見がおよそ80%以上	学校教育活動アンケート	年度末				
			●こどもが主体的に課題を見つけ、学習方法や学習形態を選択し、自らの考えをもつとともに、自分なりの言葉で表現する活動を進める。	アンケートの「自分の思いや考えを書いたり発表したりしている」の肯定的意見おおよそ80%以上	学校教育活動アンケート	学期末				
			学年・クラス・個々の児童の課題をしっかりとふまえ、課題に応じたインクルーシブ教育を進める。	公開授業における肯定的意見おおよそ80%以上	実践報告	年度末				
			一人1台の端末を積極的に用いて、授業のICT化を推進する。	アンケートの「授業の中でタブレットをよく使っている」の肯定率70%以上	学校教育活動アンケート	年度末				
			定期的な家庭学習で自主学习に取り組みせ、自分の興味・関心があることを探求する意欲を高める。	アンケートの「自分の興味のあるものや調べたいと思ったことを自主学习のめあてにしている」の肯定的意見おおよそ70%以上	学校教育活動アンケート	年度末				
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	一人ひとりのこどもが安心して活動できる居場所づくりを進め、人とのかかわりを通じ、自己有用感を高め、お互いのありのままを認め合えるしなやかな心を育てる。	★「きくこと」を大切に、友だちの意見に共感したり、自分とは異なる意見を認め合ったりすることで、自分の考えを深める。	アンケートの「授業中、先生の話や友達の意見を聞いている」の肯定率80%以上	学校教育活動アンケート	年度末				
			一人ひとりのこどもが安心して活動できる居場所づくりを進め、人とのかかわりを通じ、自己有用感を高め、お互いのありのままを認め合えるしなやかな心を育てる。	人とのかかわりを通じ、相手の想いを知り、認め合う学習集団の中で、自己有用感を醸成させる。	アンケートの「自分がかんばりを認めてくれる先生がいる」の肯定的意見おおよそ80%以上	学校教育活動アンケート				学期末
			こどもが笑顔で登校し笑顔で下校できる、いじめのない学校づくりをすすめる。	アンケートの「学校へいくのが楽しい」の肯定的意見おおよそ80%以上	学校教育活動アンケート	学期末				
	体力向上	楽しく運動する取組を計画し、継続して実践することで、体力向上を図る。	個々の良さや課題を認め合える集団づくりに取り組む。	アンケートの「友だちの良いところを見つけた」の肯定意見おおよそ80%以上。	学校教育活動アンケート	学期末				
			体育の時間に、体づくり運動などを通じて、様々な動きを取り入れることで、運動の基礎となる様々な身体感覚を身につけさせる。	アンケートの「体育の時間に、様々な動きを取り入れた活動を行っている」の肯定的意見おおよそ80%以上	学校教育活動アンケート	年度末				
			運動や体を動かすことの楽しさや気持ちよさを、あらゆる場面で伝えていき、日ごろから運動を積極的に行おうとする気持ちを、こどもがもてるようにする。	アンケートの「15分休憩や、昼休みには外で遊ぶことが多い」の肯定的意見おおよそ80%以上	学校教育活動アンケート	年度末				
地域協働	信頼される学校	学校情報の積極的な発信を行うとともに、地域とともに歩む学校づくりに取り組む。	さまざまな場面で、食事や睡眠の大切さを伝えていくことによって、こども自身がその大切さを理解し、健康に配慮した生活習慣を送れるようにする。	アンケートの「朝ごはんは毎日食べている」、「毎晩決まった時間に寝る」の肯定的意見おおよそ80%以上	学校教育活動アンケート	年度末				
			学校だよりやホームページなどを教職員全員で取り組み、学校情報を積極的に発信する	アンケートの「学校は、保護者・地域の願いに応えようとしている」の肯定的意見おおよそ80%以上	学校教育活動アンケート	年度末				
			外部人材(地域人材)、団体(地元企業含む)積極的に活用し、地域とともに歩む学校づくりを推進する	学習活動や行事において、地域人材の参画・補助や企業による出前授業を増やす	実践報告	年度末				

校長より(年度末)

学校関係者評価者から(年度末)